

# 祝 20人合格

## 第二種電気工事士 2023年度下期試験

2024年(令和6年) 3月3日 日曜日

南 信 州 新 聞

### 飯田OIDE長姫高

飯田OIDE長姫高  
校の生徒20人が昨年12  
月の第二種電気工事士  
下期技能試験に合格  
し、2月29日、松原均  
校長に喜びの報告を行  
った。

同校で開かれた報告  
会で、電気電子工学科3  
年の遠山雄正さん(18)  
は「資格取得への挑戦を  
通して学んだことを、こ  
れからの進路や今後の進  
路選択に生かしていきたい  
と語った。学科対策とし  
てオンラインによる自

約68%だった。

### 第二種電気工事士下期技能試験

## 20人が国家試験合格を報告



第二種電気工事士の資格を取得した生徒たち

宅学習に励み、技能  
試験対策では、すで  
に合格している生徒  
からの指導も受け、  
休日も使いながら約  
1カ月間の集中技能  
特訓に打ち込んだ。  
合格した生徒たち  
の表情を見た松原校  
長は「資格取得は難  
しければ難しいだ  
け、その価値は上が  
る」と努力をたたえ  
た上で「次の取得へ  
のステップアップを  
考えた時に、この経  
験は必ず生きる。資  
格を糧に、大きく飛  
躍してほしい」と激  
励した。

第二種電気工事士  
は屋内電気配線工事  
に従事するために必  
要な国家資格。試験  
は年に2回実施して  
いる。試験は学科試  
験と技能試験で構成

# 黒澤響冴さん(3年機械工学科)

## 国体(自転車競技)成績を報告

2024年(令和6年) 3月9日 土曜日

南 信 州 新 聞

喬 木 村

### 県代表として国体で健闘

### 自転車 黒澤さん 体操 松澤さん

国体に出場した黒澤さん(中央右)と松澤さん(中央左)



役場を訪れて市瀬直史村長に結果を報告した。黒澤さんは自転車競技で90キロを走る「ロードレース」とトラックを周回する「スクラッチ」に出場。結果はロードレースが77人中33位、スクラッチは決勝に進出し、18人中11位だった。両部門とも県予選で28位だった。松澤さんは「仲間と一緒に頑張った。春からは長野東高校で競技に打ち込

む予定で「鉄棒が苦手なためもうとうまくなれるよう頑張りたい」と語った。市瀬村長は、新たなステージで競技を続ける2人に「また全国大会に出場したら役場に報告に来て」と呼び掛け、「これからも体に気を付けて頑張ってほしい」とエールを送った。

からは自転車競技の強豪日本大学に進学する。大学では「競輪選手になるためのペースづくりに取り組むたい」と話した。松澤さんは体操競技の少年男子団体総合に県代表チームとして出場。少年男子は高校生まで出場できるが、中学生ながら代表メンバーに選ばれた。

同種目は各チーム5人が6種目を行い、総合の点数で競う。松澤さんは「平行棒」での演技の出来栄や正確さが高く評価されるなどの活躍を見せた。チーム成績は29チーム中28位だった。

鹿児島県で昨年開かれた「特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体」に出場した喬木村の黒澤

響冴さん(18)は飯田OIDE長姫高校3年。松澤蒼史さん(15)は喬木中学校3年。6日、村

は優勝しており「自信を持って挑むことができた」という黒澤さん。将来の夢は競輪選手で、この春

も県予選で28位だった。松澤さんは「仲間と一緒に頑張った。春からは長野東高校で競技に打ち込

む予定で「鉄棒が苦手なためもうとうまくなれるよう頑張りたい」と語った。市瀬村長は、新たなステージで競技を続ける2人に「また全国大会に出場したら役場に報告に来て」と呼び掛け、「これからも体に気を付けて頑張ってほしい」とエールを送った。



2024年度 後期選抜合格者

# おめでとう 高校合格



地域人教育の成果発表会(商業科)

飯田OIDE長姫

## 幅広い教養と高い専門性追求

### 産業界を担う人材を輩出

旧飯田工業と旧飯田長姫の統合により、県内初の総合技術、日制6科と定時制1

術高校として2013年に開校した。全

科があり、教育方針には、「幅広い教養と

高い専門性を追究し、社会に開かれた

電気電子に加え、制御や情報技術を学び

学びを通して平和な未来に貢献できる豊かな人材を育成する」を掲げる。

電気電子工学は情報通信、電子回路、制御、電力の4つを柱

地域産学官と異業種と協働して新しい付加価値を創造する

社会基盤工学は、安全安心な土木構造物を造る技術を学び

「協創力」、探求型プロジェクト」を育成する。

社会基盤工学は、安全安心な土木構造物を造る技術を学び

「高度な専門性」、未

社会に貢献できる人材を育成する。建築学は、2級建築士や

来の地域人教育の実践を通して主体的な

情報処理などの商業科目、ものづくりの基礎まで幅広い学び

「課題解決力」の3つを柱とした「地域

士に合格レベルを目指す。

協創スペシャリスト」を育成する。

商業は、簿記や情報をはじめ専門性の高い資格取得を目指す。

全日制は、機械工学、電子機械工学、

地域をフィールドにした「地域人教育」で「自ら考え、行動できる」力を身に付ける。

電気電子工学、社会

定時制は、普通科

基盤工学、建築学、

加工、材料などを学び、産業界を担う機

商業の計6科。機械

工学は設計、製図、

加工、材料などを学

に付ける。

び、産業界を担う機

定時制は、普通科



サイバー犯罪撲滅に取り組むテックレンジャー

## 159人合格



飯田OIDE長姫

統合後初の技能  
検定2級合格

機械工学科の宮下さん

## 「やり抜く力得られた」

飯田OIDE長姫

高校機械工学科3年

の宮下遼佳さん

(18)が、国家検定

「技能検定2級(機

械検査作業)」に合格

した。21日に松原均

校長から合格証書を

受け取った。

技能検定2級は難

易度が高く、全国の

合格率は約29%。宮

下さんは、高校生で

は工業高校でしか取

得できない機械検査

作業と普通旋盤作業

の各技能検定3級を

2年時に取得してい

た。

3年生になり進路

が決まった後

も、10月から

1月にかけて

勉強。放課後

に飯田市座光

寺のエス・バ

ードへ通い、

社会人に混ざ

って2級合格

に向けて計90

時間程度を積

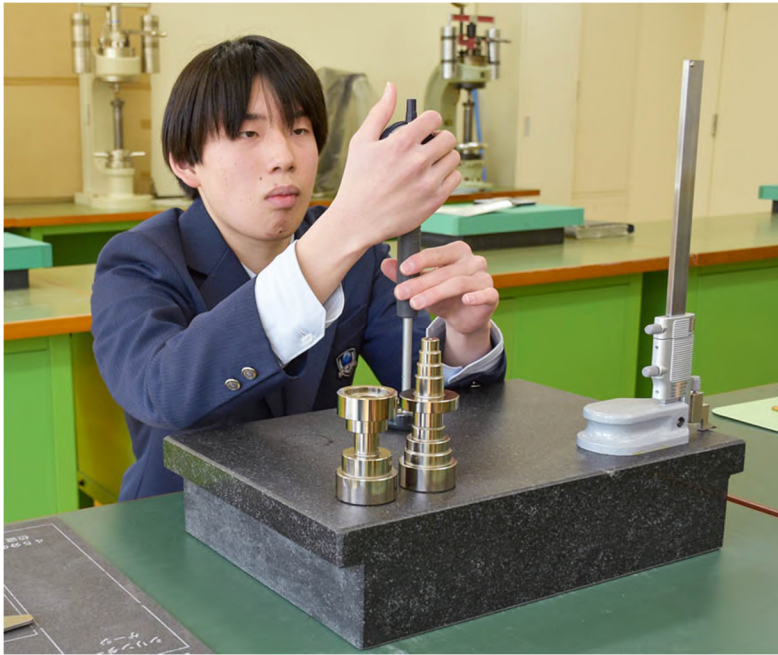
み重ねた。緻

密な作業が要

められ、図面

の要求通りの

再現が問われ



技能検定2級に合格した宮下さん

ることから、1000

0分の1ミリまで測定

できる機械も扱える

ようになった。

1月に学科試験、

2月に技能試験を行

い、今月8日に合格

の報を聞いた。自身

もホームページで確

認し「合格の実感が

湧いた。高校生活で

成し遂げられたこと

はうれしかった」と

振り返った。

卒業後は静岡市清

水区にある国立清水

海上技術短期大学校

へ進み、航海士や機

関士を目指す。今回

の資格取得が直接役

に立つかはわからな

いとしながらも「こ

れからの人生でやり

抜く力が得られた。

自信につながった」

と笑顔で語った。

## 機械工学科3年 宮下遼佳さん

# パソコン技術部エス・バードのロゴ制作に協力

## 世界へ「羽ばたく」拠点に

### OIDE長姫高パソコン技術部 エス・バードのPRロゴ制作

南信州・飯田産業センターは25日、産業界振興と人材育成の拠点「エス・バード」(飯田市座光寺)のPR用ロゴを発表した。「S・Oバディプロジェクト」として飯田OIDE長姫

高校パソコン技術部の生徒がロゴを制作。飯田下伊那地域の地図を鳥に見立て、全国や世界に羽ばたく拠点になってほしいとの思いを込めた。

同センターは施設の認知度向上に向け、PRロゴの制作を計画。高校再編で旧飯田工業高校校舎が新たな拠点に生まれ変わった経緯も踏まえ、同校に制作を依頼した。

プロジェクト名の「Sはエス・バード、Oは同校を意味し、生徒たちは2023年4月に活動を開始。検討や修正、磨き上げを重ね、今年2月に完成した。ロ

ジカランド(同市上郷別府)のデザイナー、鈴木啓介さんが指導で協力した。生徒たちは最終的に計8点を制作。その中からセンター職員28人の投票で決めた。

出来上がったロゴは「南信州が鳥のよう」に世界へ羽ばたく拠点を目指して「があるものを形にする」の足に見立てた。生徒たちにとってロゴデザインは初めての経験で、全部員37人中、1・2年の7人が中心になって制作。昨年7月の施設見学を踏まえ、9月頃から本格的に取り組んだ。頭の中にあるものを形にするのは難しく、話し合いの中で他人の視点を取り入れ、アイデアを磨いていった。

部長の2年新田安軌さん(17)は「何度も検討や修正を重ね、一つのロゴを作るのは大変だった」と振り返り、「ロゴでエス・バードと高校をより広く知ってもらえたら」と期待した。

発表されたロゴは統一PR用として多様な機会を活用していく。ほかの7点も、イメージに合ったイベントなどでの使用を考えていく。同センターの遠山昌和事務局長は「一人を呼び込み、引きつけるツールにしたい」とし、「リニア時代を担う高校生が施設に関わる機会を増やし、地域産業の盛り上げに生かしたい」と話した。



ロゴを制作したOIDE長姫高校パソコン技術部の生徒たち



発表されたPR用ロゴ



## 世界へ羽ばたく南信州・飯田産業センター